

1 気象経過及び生育状況

(1) 気象経過

- 平均気温は、平年よりも高く推移しています。本年は特に最低気温が高い傾向があります(図1)。
- 降水量は、6月下旬から7月下旬にかけて数回にわたる豪雨により7月は平年の155%とかなり多くなっています。
- 日照時間は、7月の日照時間は平年の72%と少なくなりましたが、全体的には平年よりも多く推移しています。

表1 6月から9月までの気象経過

	平均気温(°C)		降水量(mm)		日照時間(hr)	
	R6	平年差	R6	平年比	R6	平年比
6月	20.6	1.8	133	111%	226	128%
7月	24.0	1.4	333	155%	108	72%
8月	26.2	2.5	134	67%	190	106%
9月	21.4	2.3	88	53%	194	129%

(2) 9月末時点での生育状況

- 主茎長は53.6cm(平年比109%)、分枝数は3.4本/個体(同差-0.2本/個体)となっており、主茎長が長いほ場では、一部倒伏がみられています。着莢数は47.5莢/個体と、平年よりも多くなっています(同比119%)。
- 9月に入り高温傾向で推移しているため、成熟の進みはやや緩慢となっています。現在の生育ステージは、落葉期から成熟期となっています。

2 今後の管理

(1) ほ場管理

- 登熟を均一に進め、刈り取り作業を効率的に行うため、ほ場内の排水対策を徹底します。仙台管区气象台による1か月予報(9月26日発表)では、降水量はほぼ平年並となっています。明きよや排水路の点検・補修をしっかりと行ってください。
- 大型雑草や青立ち株は、汚損粒の発生原因になりますので、刈り取り前に確実に抜き取りしてください。

(2) 刈り取りの目安(図2)

- コンバインでの刈り取り目安は、茎水分が50%以下の頃です(茎の色が褐色~黒色、ポキッと折れる程度)。
- 倒伏により汚損粒の発生が心配される場合は、作業速度やこぎ胴の回転数を抑えるなどの低減対策により品質低下を防止します。

* 内容についてのお問い合わせは、農業振興普及課(Tel 0186-62-1835)へご連絡下さい。

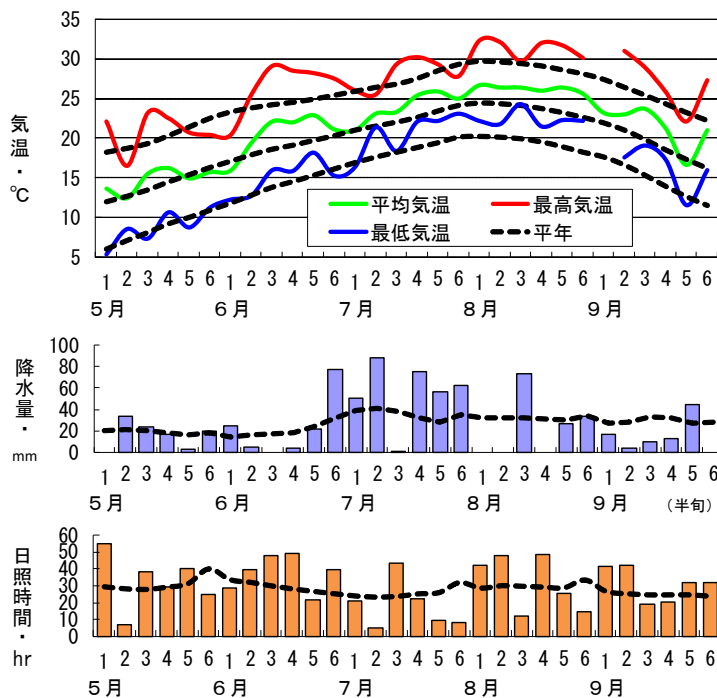


図1 半旬ごとの気象経過図(アメダス鷹巣)

○生育調査結果(9月30日現在)

	主茎長(cm)	分枝数(本/個体)	着莢数(莢/個体)
R 6	53.6	3.4	47.5
R 5	50.8	4.9	44.1
平年	54.8	3.6	40.0
平年比	109%	-0.2	119%

管内5カ所平均値。



茎の水分	70%以上	60%	50%	40%以下
茎の色	緑~黄色	褐色	黒み	灰色・白色まだら

図2 茎の水分と茎の色の目安